

2-5 交通の状況

2-5-1 地域公共交通の状況

本市の公共交通は、鉄道およびバス、乗合タクシーで構成されています。

鉄道については、JR 肥薩線と、くま川鉄道の2路線がありますが、令和2年7月豪雨により、両路線とも一部運休中であり、人吉市内の区間は運休中です。バス路線については、表2-9のとおり厳しい状況にあります。

一方、路線バスは、複数市町村を結ぶ路線があり、それらを補完する形で、地域内路線バスである人吉 IC 乗降口線（じゅぐりっと号）、地域内コミュニティバス（まめバス）があります。

市外へは高速バスが運行しており、用途地域内は概ね徒歩圏にバス停があります。その他、本市の北部や南部は乗合タクシー等でカバーされています。

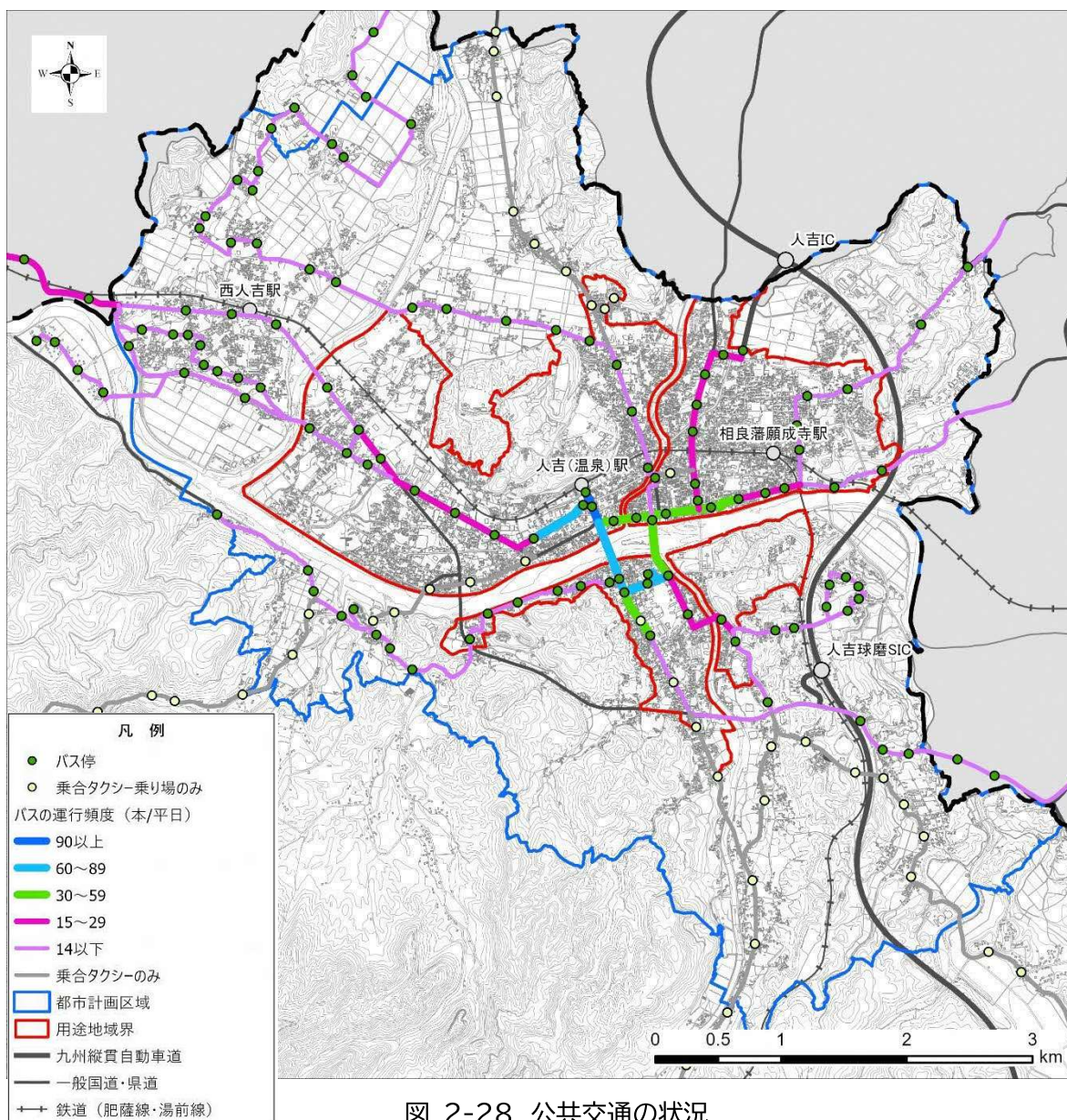


図 2-28 公共交通の状況

資料：都市計画基礎調査

表 2-8 鉄道等の状況

路線名	駅名	運営会社	運行頻度 (平日)	乗降客数
湯前線	人吉温泉	くま川鉄道	—	—
湯前線	相良藩願成寺	くま川鉄道	—	—
肥薩線	西人吉	九州旅客鉄道	—	—
肥薩線	人吉	九州旅客鉄道	—	—
肥薩線	大畑	九州旅客鉄道	—	—
肥薩線	矢岳	九州旅客鉄道	—	—

資料：庁内資料（R4.4 現在）

表 2-9 バスの状況

路線名	事業者名	経路	1日当たり 運行回数 (回)	1日当たり 輸送量 (人)
石水寺線	産交バス㈱	人吉産交～下林～石水寺入口	5.4	2.7
石水寺線	産交バス㈱	人吉産交～中神～石水寺入口	1.0	0.0
石水寺線	産交バス㈱	人吉産交～人吉医療センター～下林～石水寺入口	6.5	4.5
石水寺線	産交バス㈱	人吉産交～人吉医療センター～中神～石水寺入口	2.0	0.4
大柿線	産交バス㈱	人吉産交～人吉医療センター～中神町段～涼水戸温泉前	3.0	0.3
多良木線	産交バス㈱	人吉産交～西九日町～木上小学校前～多良木駅前	3.3	2.3
五木線	産交バス㈱	人吉産交～川村駅入口～茶湯里温泉前～上田代(相良)	3.0	0.6
五木線	産交バス㈱	人吉産交～川村駅入口～柳瀬～上田代(相良)	1.0	0.5
五木線	産交バス㈱	人吉産交～人吉電力所前～大谷～頭地	6.3	5.0
上田代線	産交バス㈱	人吉産交～瓦屋町～馬草野～尾曲	3.0	0.0
七地線	産交バス㈱	人吉産交～浪床町公民館前～人吉産交	3.0	0.0
小柿線	産交バス㈱	人吉産交～人吉医療センター～西瀬団地前～小柿公民館前	3.0	0.0
湯前線	産交バス㈱	人吉産交～木上小学校前～多良木～湯の前駅前	4.6	3.6
市房登山口	産交バス㈱	人吉産交～旧西村農協前～多良木～市房登山口	5.5	7.1
市房登山口	産交バス㈱	人吉産交～人吉医療センター～旧西村農協前～市房登山口	6.5	10.4
多良木線	産交バス㈱	人吉産交～人吉医療センター～旧西村農協前～多良木駅前	6.0	7.2
多良木線	産交バス㈱	人吉産交～西九日町～旧西村農協前～多良木駅前	3.5	3.5
人吉インター線	産交バス㈱	人吉 IC 乗降口～鬼木町～人吉駅前	8.9	1.7
人吉インター線	産交バス㈱	人吉駅前～九日町～球磨川下り発～人吉 IC 乗降口	2.0	0.2
人吉インター線	産交バス㈱	人吉 IC 乗降口～九日町～人吉医療センター～人吉駅前	9.0	2.7
人吉インター線	産交バス㈱	人吉駅前～医療センター～球磨川下り発～人吉 IC 乗降口	2.0	0.2

運行期間：R2.10～R3.9

資料：庁内資料

2-5-2 バス停からの徒歩圏の状況

バス停からの徒歩圏※の状況を見ると、用途地域内は概ね徒歩圏域ですが、一部運行本数が少ない路線もあります。

※公共交通の徒歩圏については、人吉市地域公共交通計画を踏まえ 400m としました。

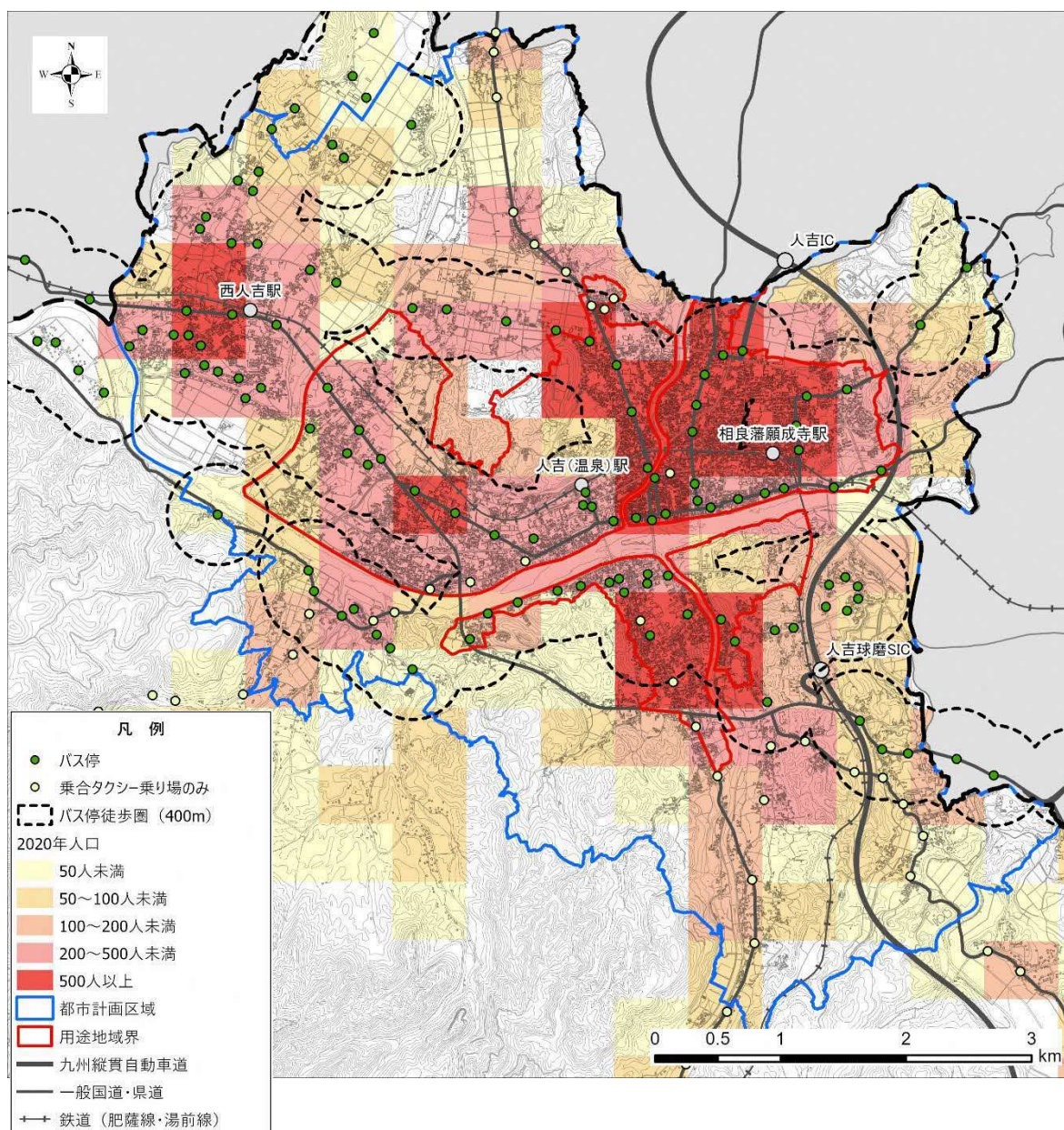


図 2-29 バス停留所と公共交通徒歩圏 令和 2 年(2020 年)

2-6 都市機能の状況

本市における商業、福祉、医療、子育て支援施設等の都市機能を担う施設の立地状況を整理するとともに、施設からの徒歩圏（800m）における人口カバー率を算出しました。

都市機能を担う各施設の徒歩圏※人口カバー率を見ると、令和2年（2020年）では、日常生活で利用頻度の高い商業機能、金融機能については70%以上である一方、医療機能は50.6%、その他は50%未満の徒歩圏人口カバー率となっています。

令和22年（2040年）においても、機能別の徒歩圏人口カバー率に大きな変化は見られません。

※都市機能施設の徒歩圏は、一般的な徒歩圏である半径800mを基本とし、福祉機能と医療機能については高齢者の一般的な徒歩圏である半径500mとしました。

表 2-10 徒歩圏人口とカバー率

種別	令和2年（2020年）			令和22年（2040年）		
	人口 （人）	徒歩圏人口 （人）	カバー率 （%）	人口 （人）	徒歩圏人口 （人）	カバー率 （%）
行政機能	31,108	3,109	10.0	23,658	2,235	9.4
商業機能	31,108	23,572	75.8	23,658	18,297	77.3
介護福祉機能	31,108	13,982	44.9	23,658	10,614	44.9
医療機能	31,108	15,735	50.6	23,658	12,408	52.4
子育て支援機能	31,108	21,443	68.9	23,658	16,791	71.0
金融機能	31,108	22,196	71.4	23,658	17,278	73.0
スポーツ・文化機能	31,108	11,278	36.3	23,658	8,657	36.6

2-6-1 行政機能

行政施設として市役所の徒歩圏を整理しました。

市役所は球磨川より南側の用途地域内に立地しています。

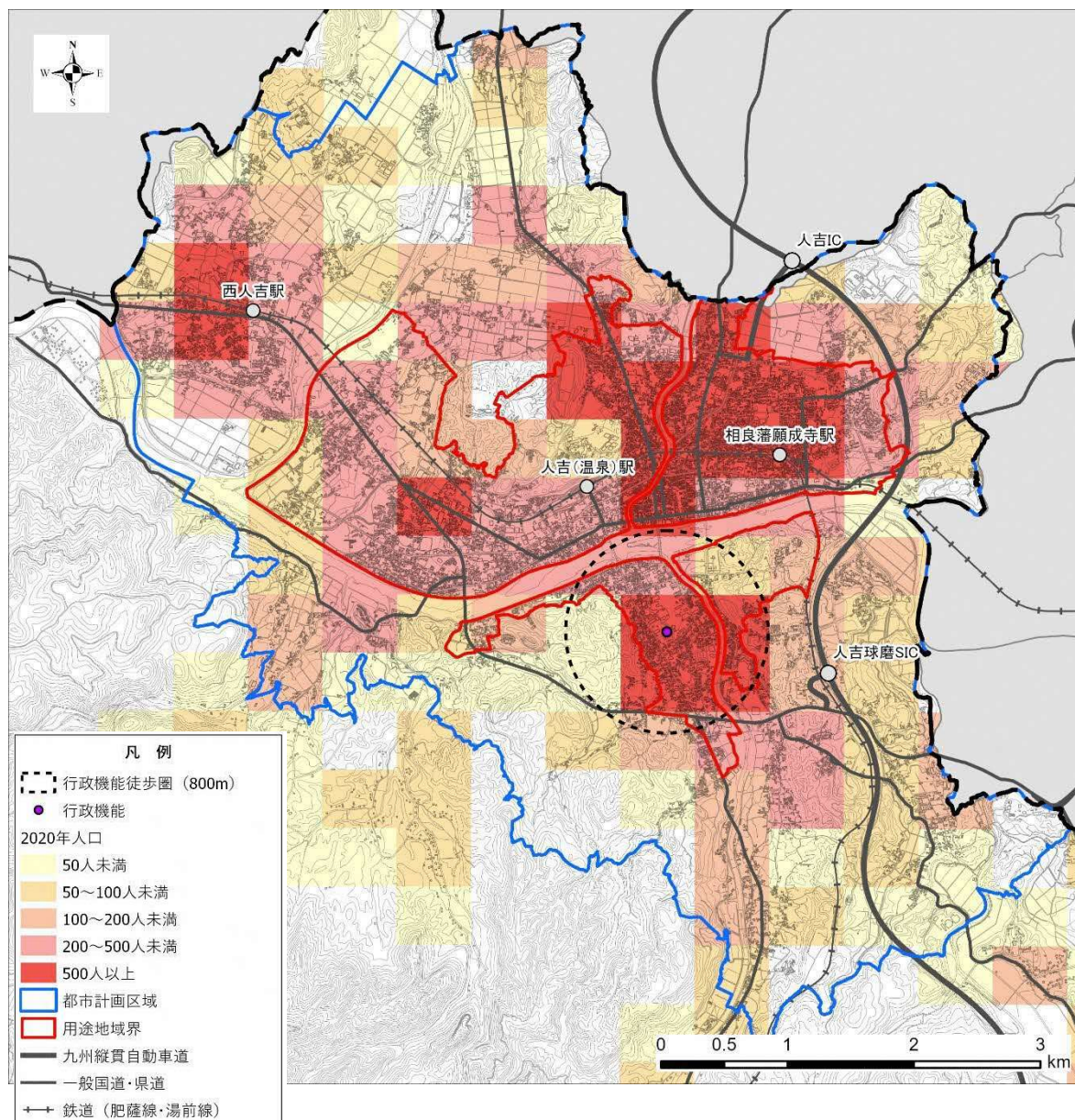


図 2-30 行政施設の位置と徒歩圏 令和2年(2020年)

2-6-2 商業機能

商業施設は、日常的な買い物先として考えられる、コンビニエンスストア、スーパーマーケット、ドラッグストアを対象に立地状況を整理しました。

これらの商業施設は、主に用途地域内の幹線道路沿道に立地しており、徒歩圏は概ね用途地域をカバーしています。また、用途地域外では、人口の集積が見られる西人吉駅周辺に立地しているほか、人吉球磨 SIC の南側にも立地しています。

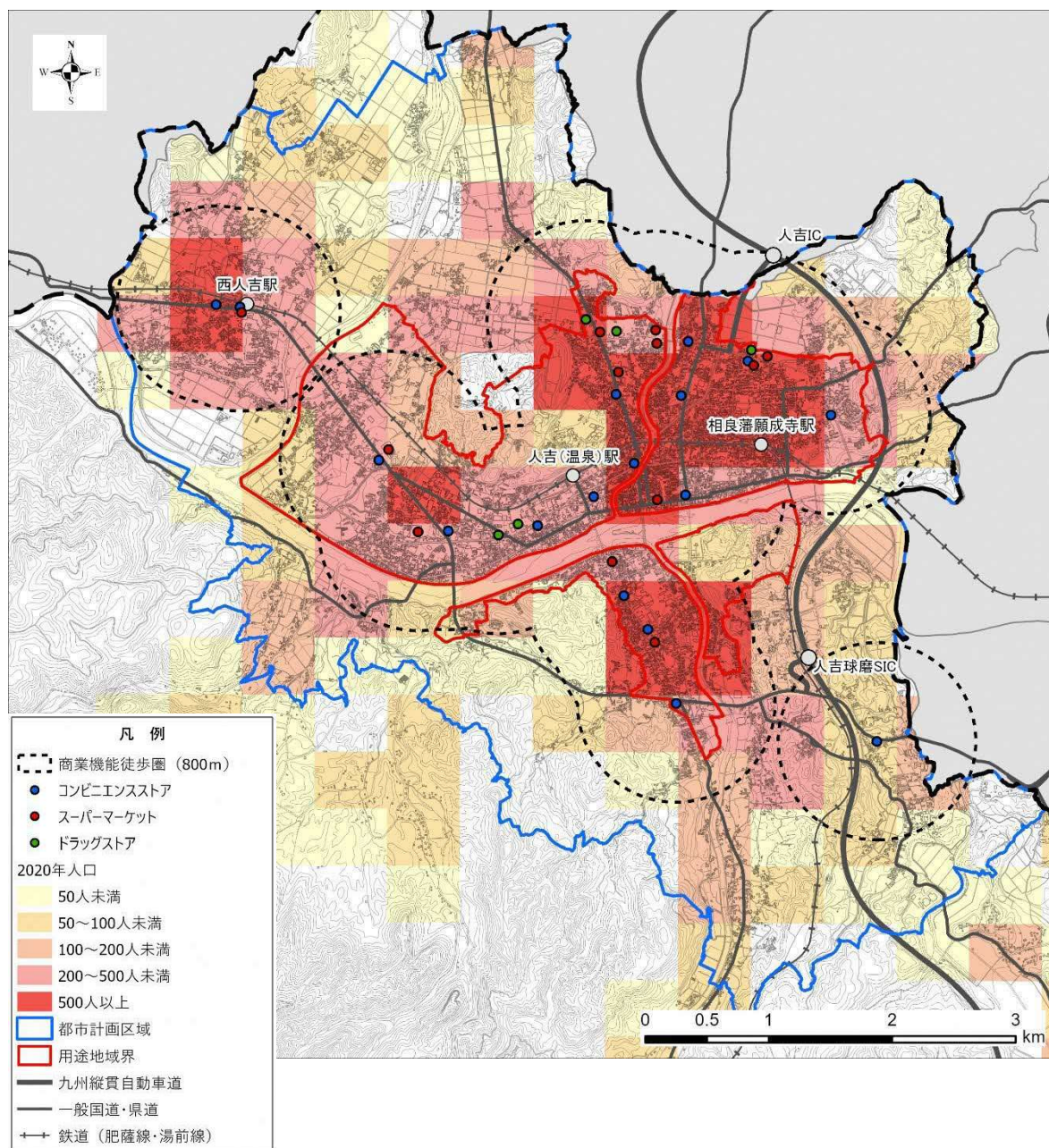


図 2-31 商業機能の位置と徒歩圏 令和 2 年(2020 年)

2-6-3 介護福祉機能

介護福祉施設として、介護福祉に関する相談施設としての機能を担う老人福祉センター、地域包括支援センター、入所介護施設である特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、ケアハウス、通所介護施設であるデイサービスの立地状況を整理しました。

これらの介護福祉施設は幹線道路沿道や人口の多い地域を中心に、都市計画区域内に分散して立地していますが、人吉（温泉）駅の周辺には立地していないため、用途地域の中央部は徒歩圏外となっています。また、用途地域外では、人口の集積が見られる西人吉駅周辺に立地しているほか、人吉球磨SICの南側にも立地しています。

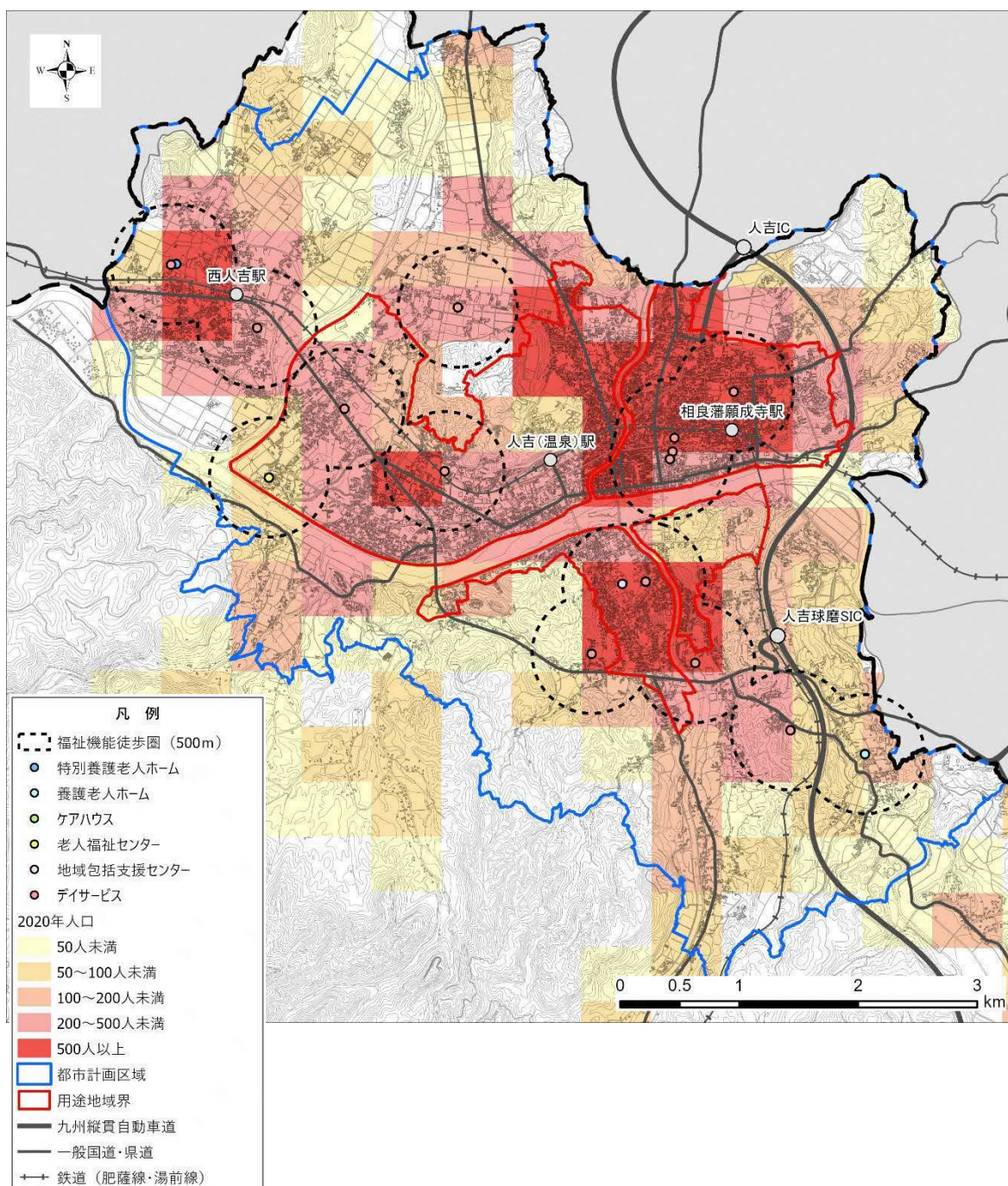


図 2-32 福祉機能の位置と徒歩圏 令和 2 年(2020 年)

2-6-4 医療機能

医療機能を担う施設として、市内の病院および内科のある診療所について立地状況を整理しました。

病院および内科のある診療所は大部分が用途地域内に立地しています。

用途地域内は概ね徒歩圏ですが、用途地域内の西部は徒歩圏外です。

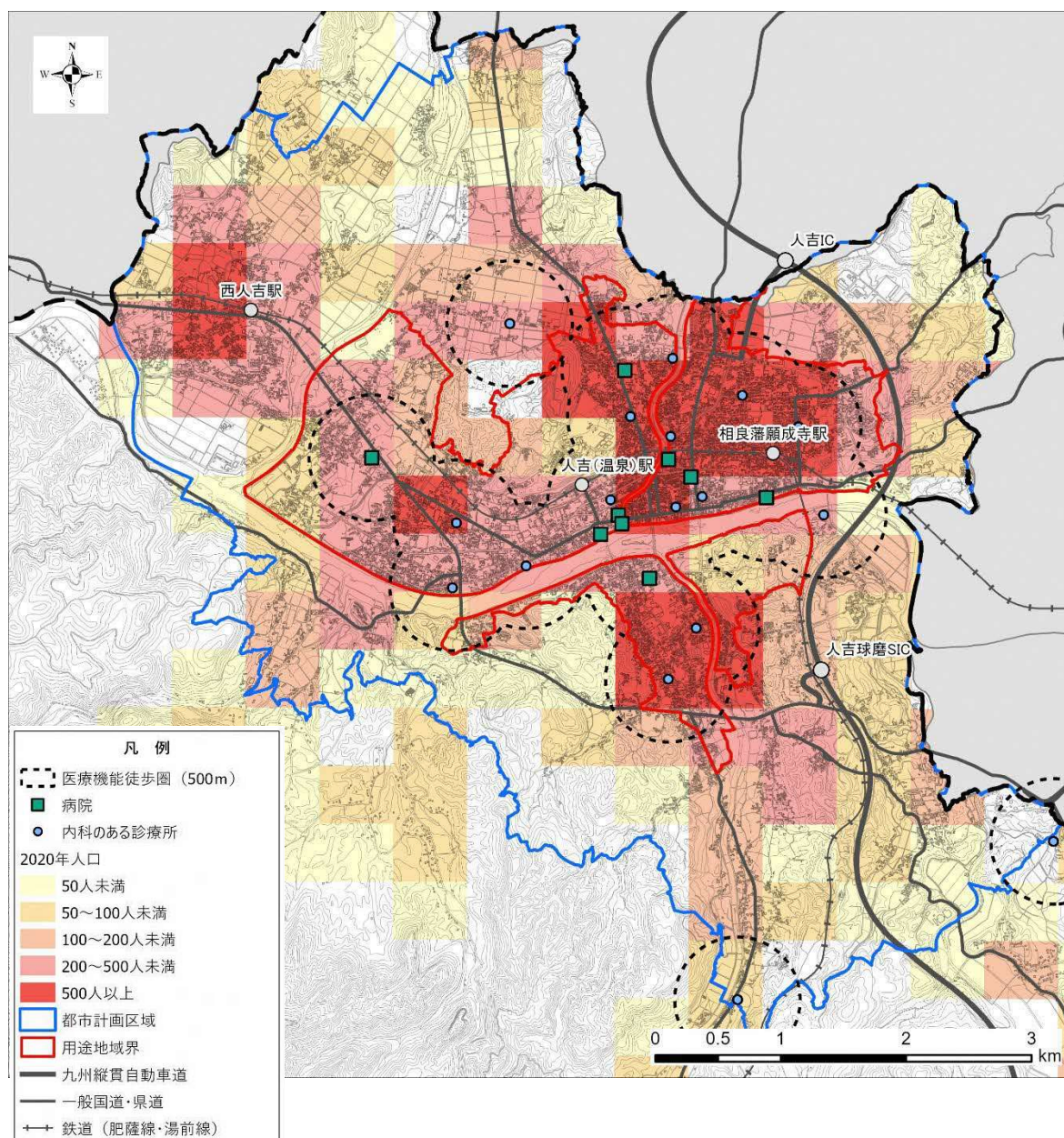


図 2-33 医療機能の位置と徒歩圏 令和 2 年(2020 年)

2-6-5 子育て支援機能

子育て支援関連の施設は、都市計画区域内に認定こども園、保育園、幼稚園が立地しています。

これらの子育て支援関連の施設は、大部分が用途地域内に立地し、用途地域内は概ね徒歩圏となっています。用途地域外では、人口の集積が見られる西人吉駅周辺地域にも立地しています。

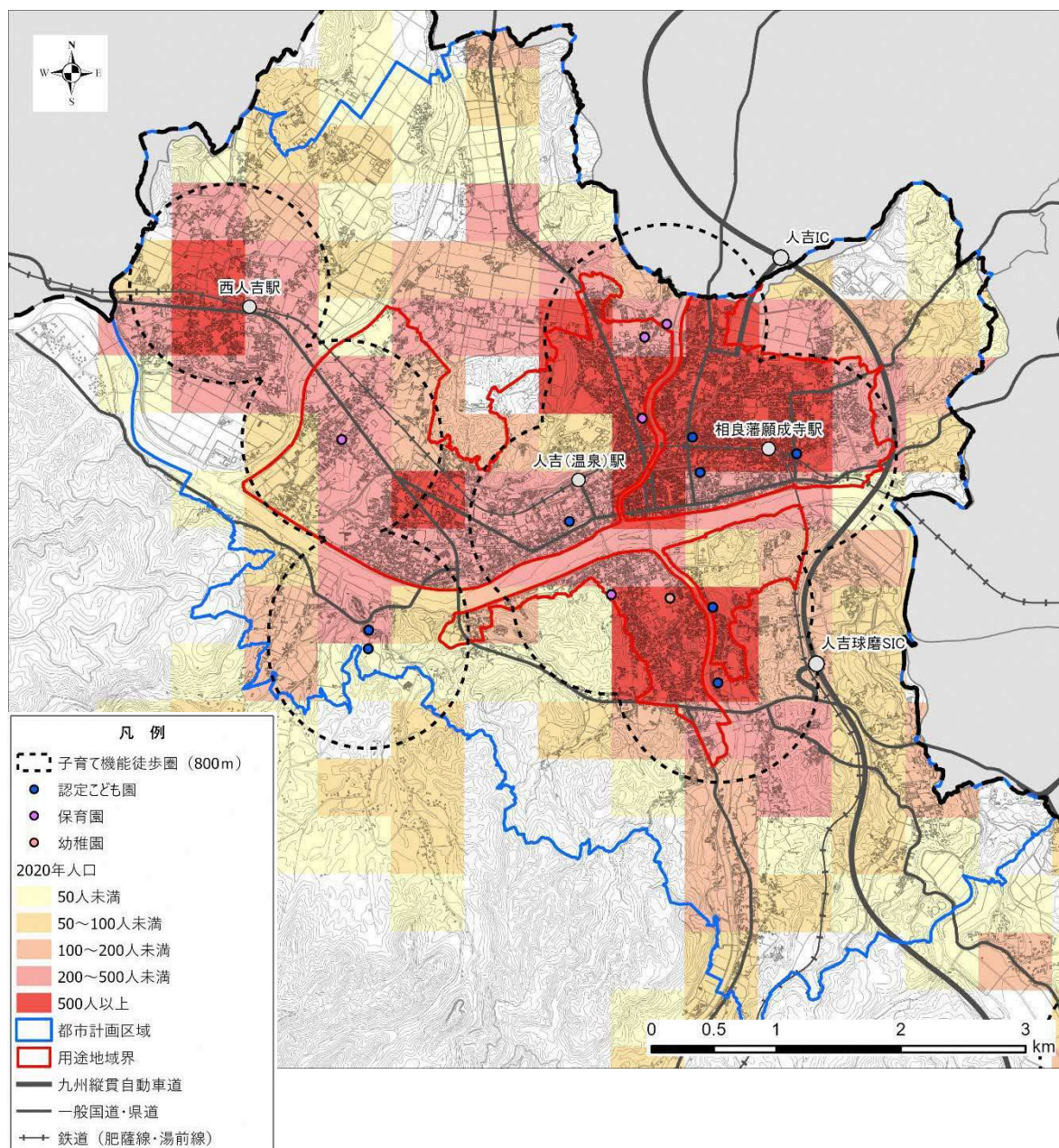


図 2-34 子育て支援機能の位置と徒歩圏 令和 2 年(2020 年)

2-6-6 金融機能

金融施設は、都市計画区域内に信用組合・信用金庫・労働金庫、郵便局、銀行、JAが立地しています。これらの金融施設の大部分は人吉（温泉）駅周辺を中心に、用途地域内に立地しており、用途地域内は概ね徒歩圏となっています。用途地域外では、西人吉駅周辺にも立地しています。

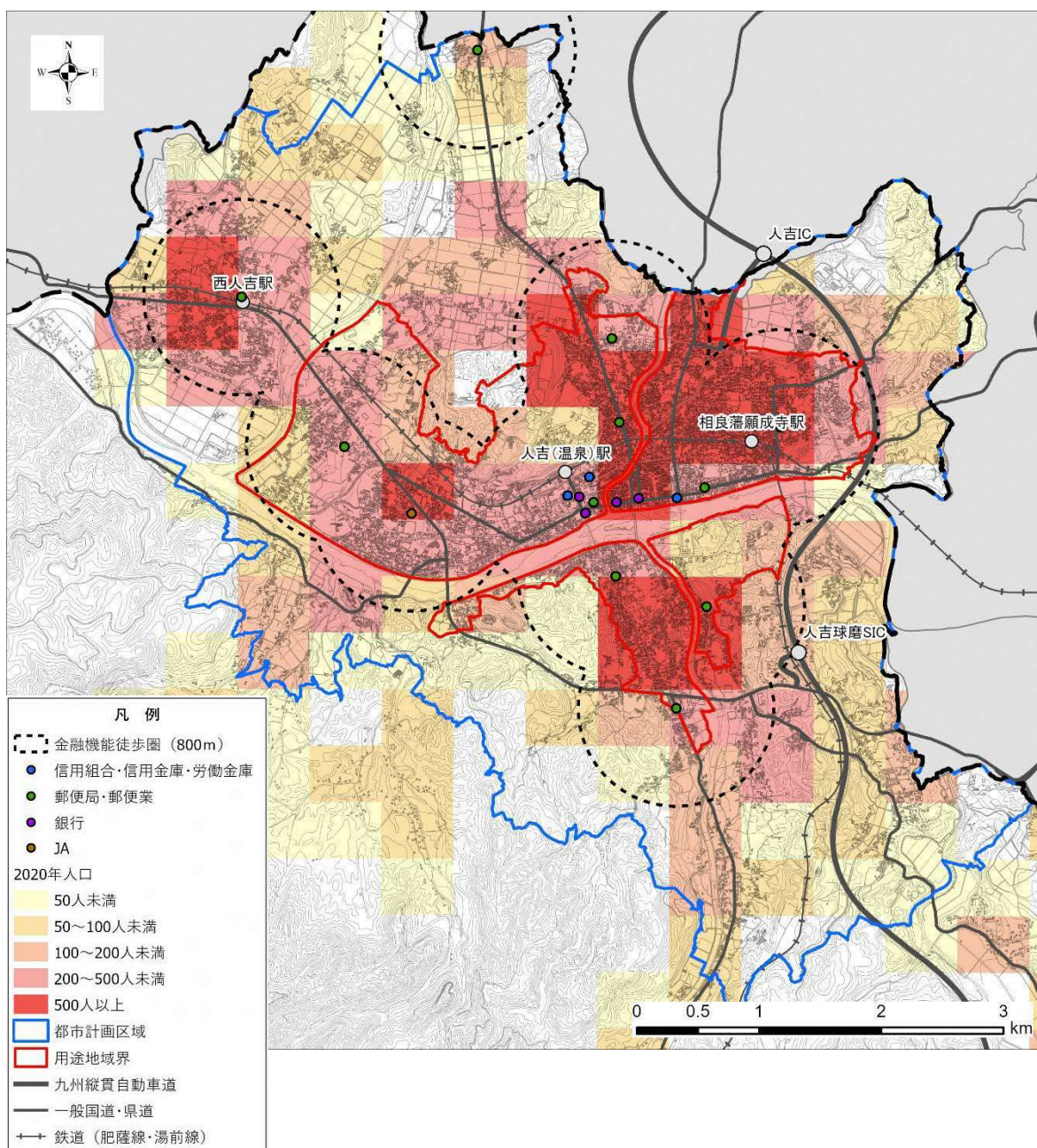


図 2-35 金融機能の位置と徒歩圏 令和2年(2020年)

2-6-7 スポーツ・文化機能の立地状況等

スポーツ・文化関連施設として、図書館や体育館、運動場等を整理しました。

これらのスポーツ・文化関連施設は概ね用途地域内に立地しています。相良藩願成寺駅周辺には立地しておらず、用途地域の東側は徒歩圏外となっています。用途地域外では、上林町、鬼木町、蟹作町にスポーツ施設が立地しています。

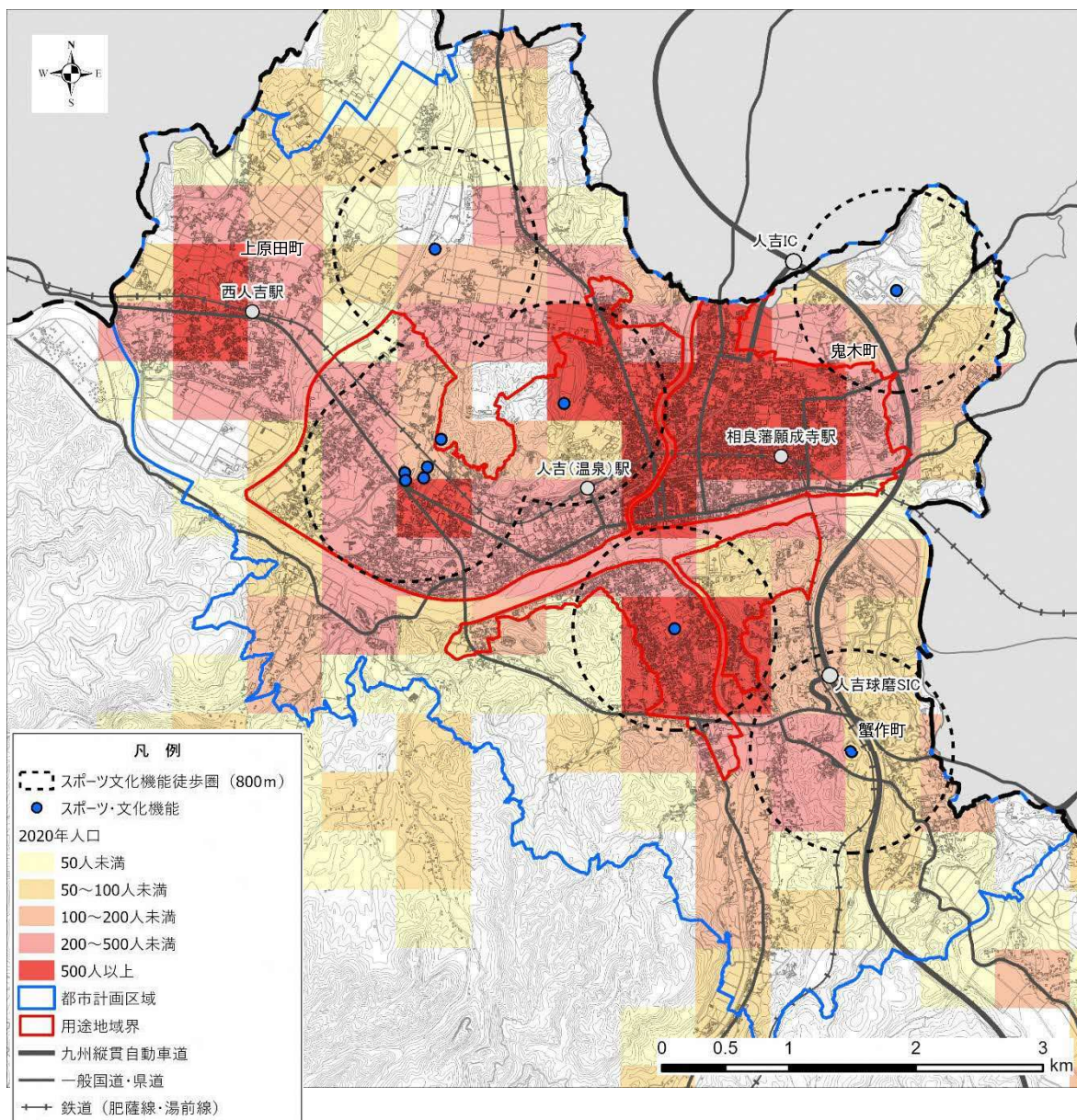


図 2-36 スポーツ・文化機能の位置と徒歩圏 令和2年(2020年)

2-7 都市施設の整備状況

2-7-1 都市計画道路

令和4年度（2022年度）における本市の都市計画道路の状況は、都市計画決定された道路が14路線、計画延長が37.09kmで整備率は47.2%となっています。なお、平成21年度（2009年度）に長期未着手である路線について見直しを実施し、2路線の廃止、2路線の一部廃止を行っています。

表 2-11 都市計画道路の決定状況

決定年月日	都市施設名称	進捗状況		整備率	備考
		計画	整備済		
R5.2.3	3・4・1 下林柳瀬線	5.77km	3.66km	63.4%	当初決定 S43.12.28
H22.2.19	3・4・2 中林蟹作線	6.40km	4.84km	75.6%	当初決定 S43.12.28
R5.2.3	3・5・4 人吉駅蓑野線	3.14km	1.05km	33.4%	当初決定 S43.12.28
H22.2.19	3・4・5 紺屋町南町線	1.30km	0.72km	55.4%	当初決定 S43.12.28
H22.2.19	3・5・6 瓦屋下城本線	1.40km	0.00km	0.0%	当初決定 S43.12.28
H22.2.19	3・5・7 南泉田東間線	2.14km	0.60km	28.0%	当初決定 S43.12.28
H22.2.19	3・4・8 南泉田鶴田線	1.37km	1.37km	100.0%	当初決定 S43.12.28
H22.2.19	3・5・10 願成寺合原線	3.43km	1.65km	48.1%	当初決定 S43.12.28
H22.2.19	3・5・11 麓矢黒線	1.99km	0.13km	6.5%	当初決定 S43.12.28
H22.2.19	3・5・12 田町西間線	0.60km	0.00km	0.0%	当初決定 S43.12.28
R5.2.3	3・5・13 相良鬼木線	3.91km	1.62km	41.4%	当初決定 S43.12.28
R5.2.3	3・5・14 下町宝来線	0.14km	0.00km	0.0%	当初決定 S43.12.28
H24.7.10	3・4・15 下林願成寺線	4.90km	1.25km	25.5%	当初決定 S43.12.28
H22.2.19	3・4・16 駒井田瓦屋線	0.60km	0.60km	100.0%	当初決定 S53.12.16
合 計		37.09km	17.49km	47.2%	

資料：庁内資料（令和4年度時点）

2-7-2 都市計画公園

令和4年度（2022年度）における本市の都市計画公園の状況は、都市計画決定された公園が10箇所、計画面積が121.46haで整備率は52.5%となっています。なお、都市計画決定はされていませんが、中川原公園なども整備、管理を行っています。

表 2-12 都市計画公園の決定状況

決定年月日	都市施設名称	進捗状況		整備率	備考
		計画	整備済		
S53.8.22	2・2・1 相良公園	0.17ha	0.17ha	100.0%	
S51.10.12	2・2・2 下新町公園	0.24ha	0.24ha	100.0%	
S53.1.6	2・2・3 宝来町公園	0.12ha	0.12ha	100.0%	
S54.7.17	2・2・4 願成寺公園	0.15ha	0.15ha	100.0%	
S55.8.30	2・2・5 瓦屋公園	0.18ha	0.18ha	100.0%	
S51.4.6	5・5・1 村山公園	28.1ha	20.6ha	73.3%	
H4.2.3	5・5・2 石野公園	20ha	20ha	100.0%	
S51.4.6	7・5・1 人吉城跡公園	14.6ha	13.54ha	92.7%	
S51.4.6	7・3・2 城本公園	1.3ha	1.3ha	100.0%	
S54.12.22	9・6・1 人吉ループ公園	56.6ha	7.5ha	13.3%	
合 計		121.46ha	63.8ha	52.5%	

資料：庁内資料（令和4年度時点）

2-7-3 その他の都市施設

本市のその他の都市施設の状況は、人吉公共下水道、人吉汚物処理場など7施設を計画決定しています。

下水道の整備状況として、公共下水道（污水）事業計画区域と、事業計画区域外の全体計画区域について整理しました。

用途地域内では麓町污水中継ポンプ場の東側以外の大部分が事業計画区域に含まれている状況です。その他にも西人吉駅周辺および人吉 IC 東側の地域が事業計画区域に含まれています。

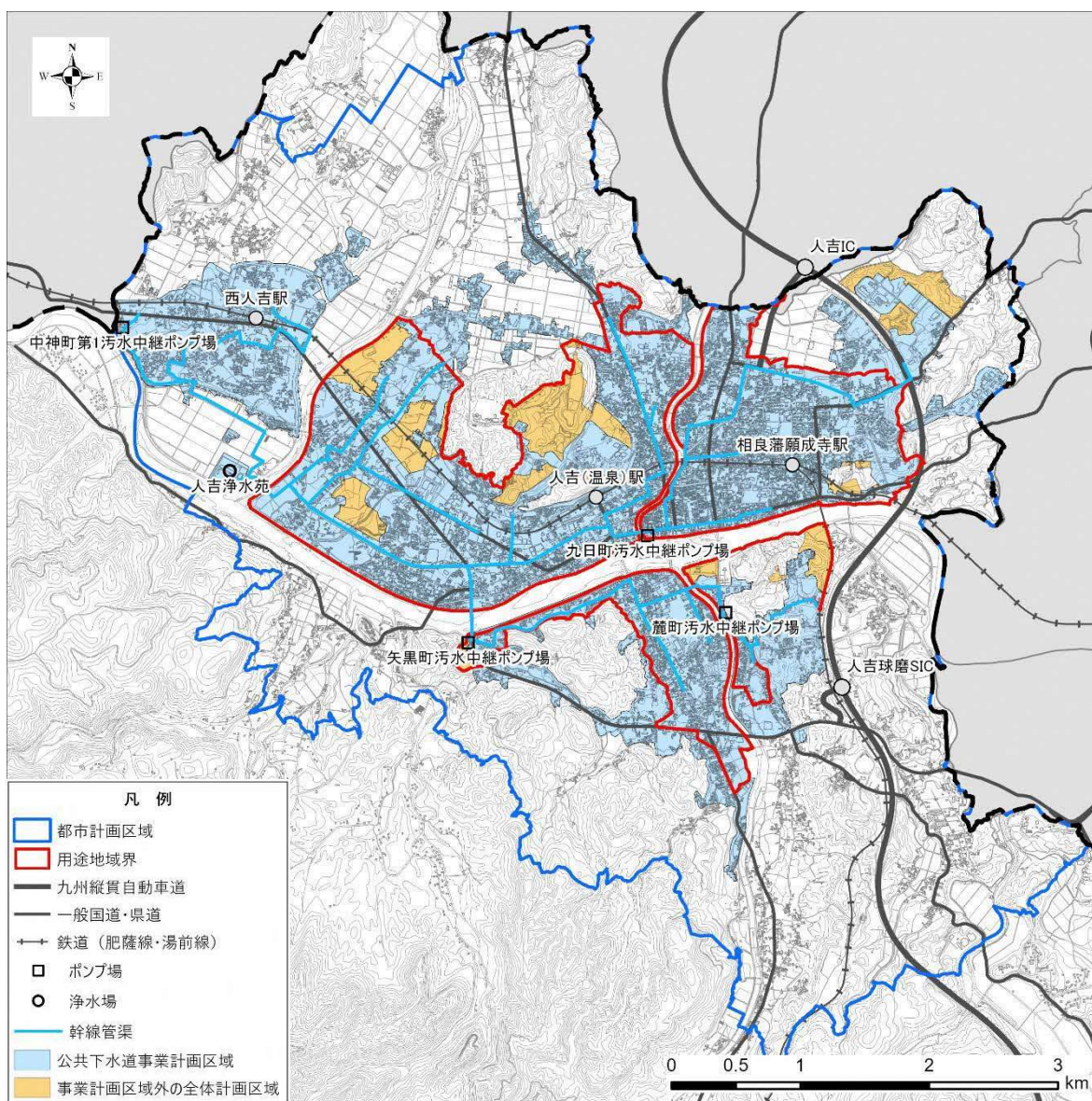


図 2-37 下水道整備状況

資料：庁内資料

表 2-13 その他の都市施設の決定状況

決定年月日	都市施設名称	進捗状況		整備率	備考
		計画	整備済		
H26.7.17	人吉公共下水道	—	—	—	当初決定 S48.10.20
H17.2.8	人吉汚物処理場	1.19ha	1.19ha	100.0%	処理量 96kl/日
H12.6.26	人吉球磨広域行政組合清掃センター	8.60ha	8.83ha	102.7%	90t/日
S49.9.26	人吉総合市場	2.00ha	不明	—	取扱量 70 t
H2.12.3	球磨川	7.27km	不明	—	
H25.8.13	人吉火葬苑	1.40ha	1.40ha	100.0%	焼却炉 4 基 汚物炉 1 基
S43.5.28	三日原改良住宅	4.94ha	0.58ha	11.7%	

資料：都市計画基礎調査

前述の施設以外に、本市の浪床町に「人吉球磨 SIC（スマートインターチェンジ）」が、令和元年（2019 年）8 月に開通しました。

また、人吉球磨 SIC の開通と同時に、これまで市で整備を進めてきた「道の駅 人吉」も開駅し、県内外から多くの利用客が来訪しています。

なお、人吉球磨 SIC については、ETC2.0 を活用することで一時退出を可能とする「賢い料金」の社会実験が行われており、道の駅「人吉」への立ち寄りを可能とすることで、休憩や買い物、周辺の交通観光情報の入手など、「道の駅」が提供する多様なサービスの利用が可能となることで、「道の駅」においても広域的な利用者の増加が考えられ、地域活性化につながるものと考えられます。

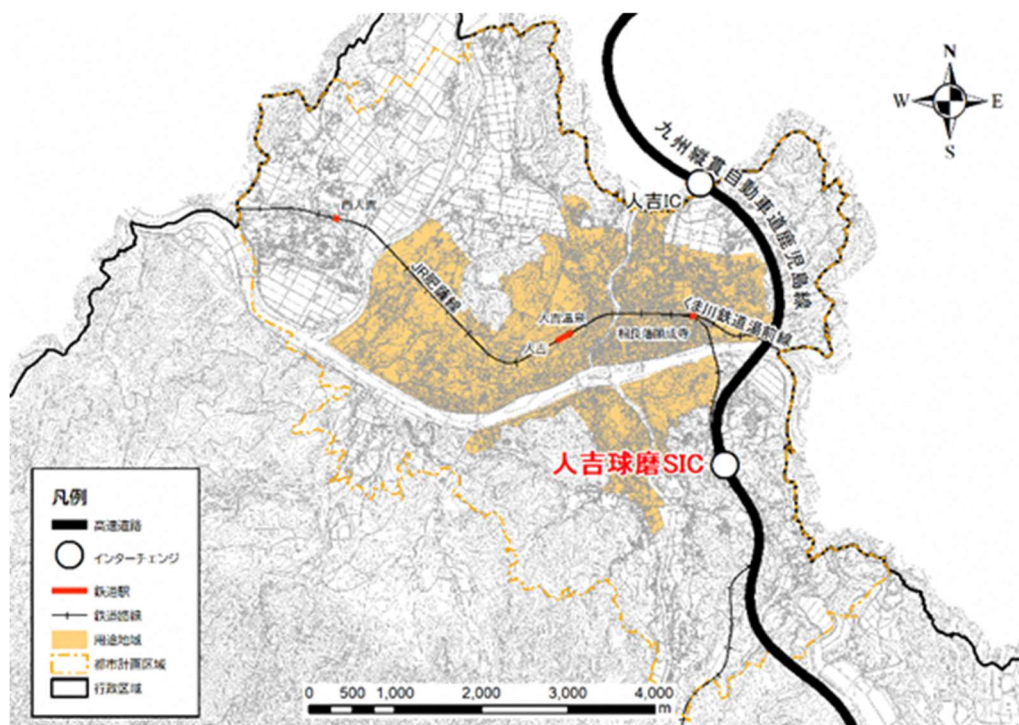


図 2-38 人吉球磨 SIC の位置図

資料：国土数値情報

2-8 財政の状況

2-8-1 歳入歳出（普通会計）

平成 31 年度（2019 年度）の普通会計歳入は 187 億円程度、歳出は 184 億円程度となっており、歳入、歳出ともに増加傾向にあり、平成 24 年度（2012 年度）と比較すると、約 2 割増加しています。

令和 2 年度（2020 年度）は令和 2 年 7 月豪雨関連や新型コロナウイルス感染症対策により大きく増加しています。

表 2-14 歳入歳出

単位：千円

	H24 度 (2012)	H25 度 (2013)	H26 度 (2014)	H27 度 (2015)	H28 度 (2016)	H29 度 (2017)	H30 度 (2018)	H31 度 (2019)	R2 度 (2020)
歳入	15,641,796	15,892,763	16,639,791	16,227,267	16,178,603	16,887,006	17,335,306	18,696,024	30,092,834
歳出	15,114,789	15,401,880	16,014,018	15,491,738	15,623,555	16,540,339	16,828,682	18,354,280	28,707,991

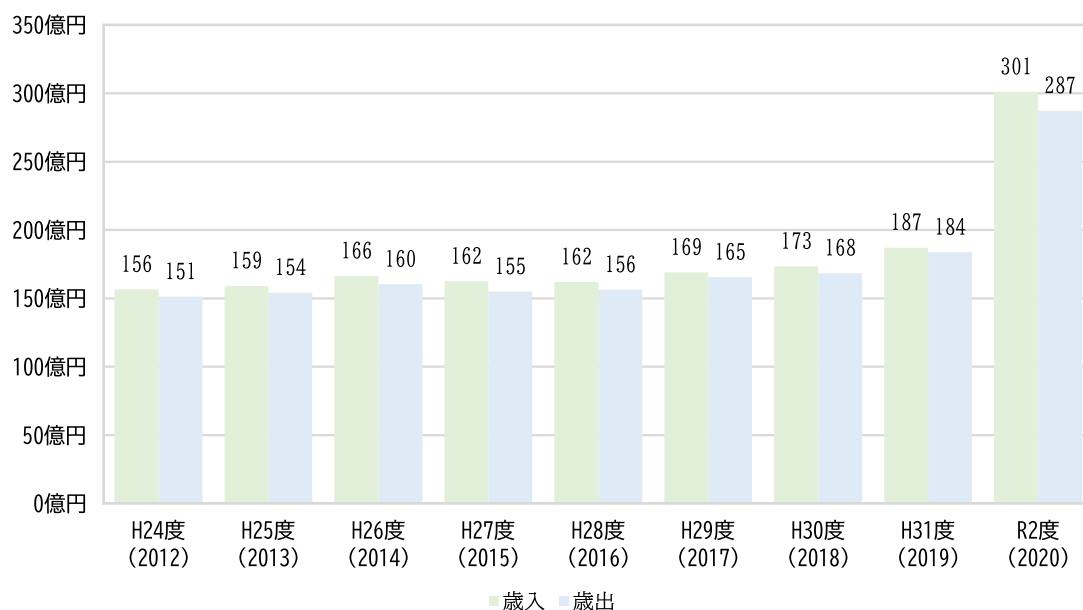


図 2-39 歳入歳出

資料：人吉市統計年鑑

2-8-2 財政力指数

本市の平成 31 年度（2019 年度）の財政力指数は 0.44 で、全国平均より 0.07 ポイント低くなっています。

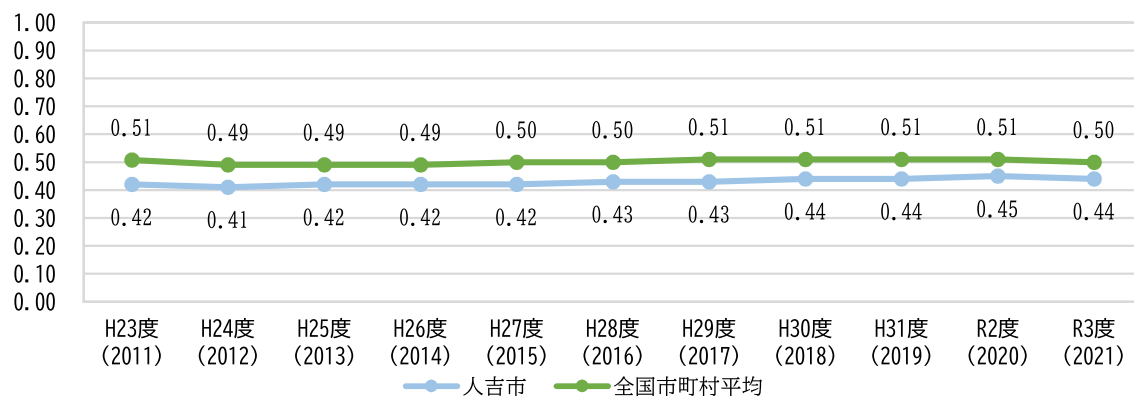


図 2-40 財政力指数

資料：人吉市の財政状況

2-8-3 経常収支比率

本市の平成 31 年度（2019 年度）の経常収支比率は 99.9%で、全国平均よりも 6.3%高く、財政の弾力性が低くなっています。

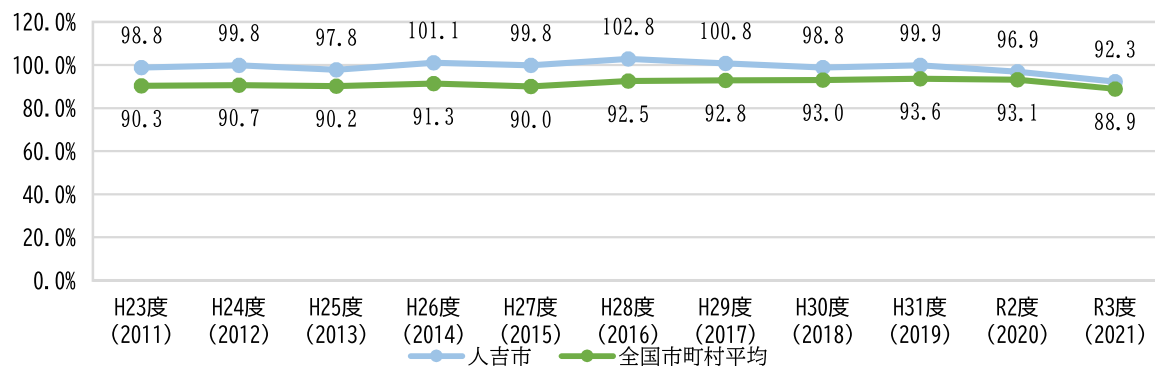


図 2-41 経常収支比率

資料：人吉市の財政状況

2-8-4 実質公債費比率

本市の平成 31 年度（2019 年度）の実質公債費比率は 5.0%で、全国平均とほぼ同じです。

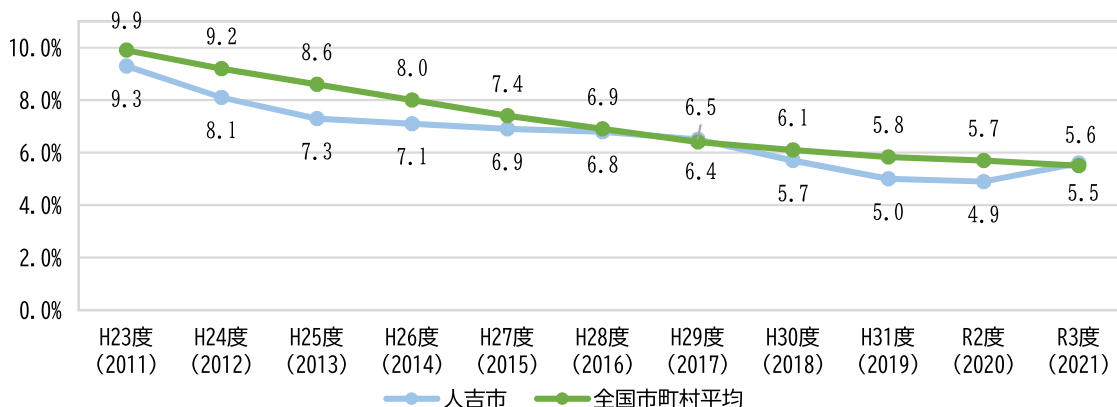


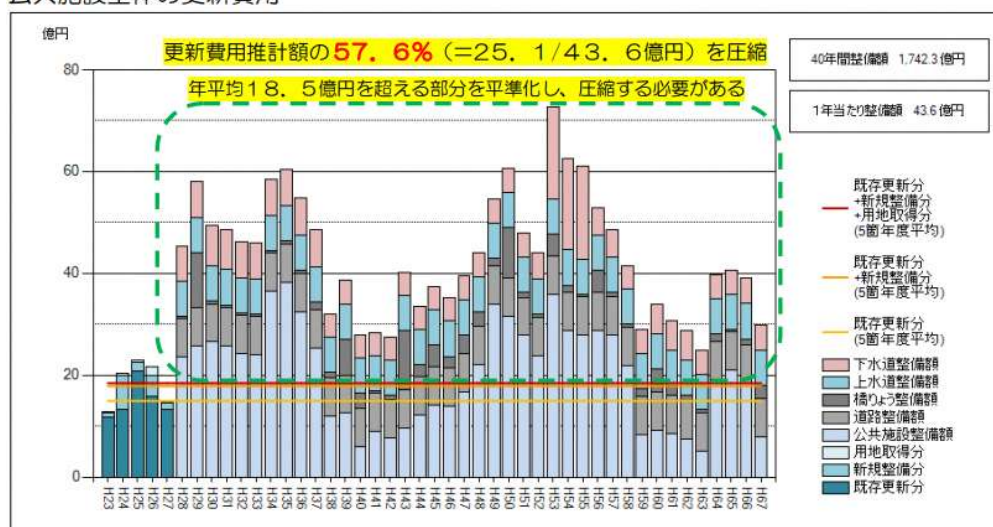
図 2-42 実質公債費比率

資料：人吉市の財政状況

2-8-5 公共施設の更新費用

本市の平成 27 年（2015 年）以降のすべての公共施設の更新費用を試算した結果、今後 40 年間で 1,742 億 3 千万円（年平均 43 億 6 千万円）が必要です。直近 5 箇年の投資的経費の平均値を確保可能な予算額とし、不足額を求めたところ、確保可能予算額が約 18 億 5 千万円になるため、年平均で 25 億 5 千万円不足することになります。今後更新時期を迎えることで、現在のサービス水準を維持しようとした場合、修繕および改修費が増大する見込みです。

公共施設全体の更新費用



（一般財団法人地域総合整備財団 公共施設等更新費用試算ソフトにて算定）

図 2-43 公共施設全体の更新費用

2-9 地価の状況

本市の地価の状況を見ると、最も地価が高い地区は4.九日町 41-1 外 (32,500 円/㎡)、次いで5.鶴田町字鶴村 865-1 (26,300 円/㎡) であり、どちらも用途は商業地です。

なお、住宅地で最も高い地点は6.灰久保町 16-4 外 (24,400 円/㎡) です。

商業地、住宅地、工業地ともに地価は下落傾向にあり、特に商業地の下落率が高くなっています。

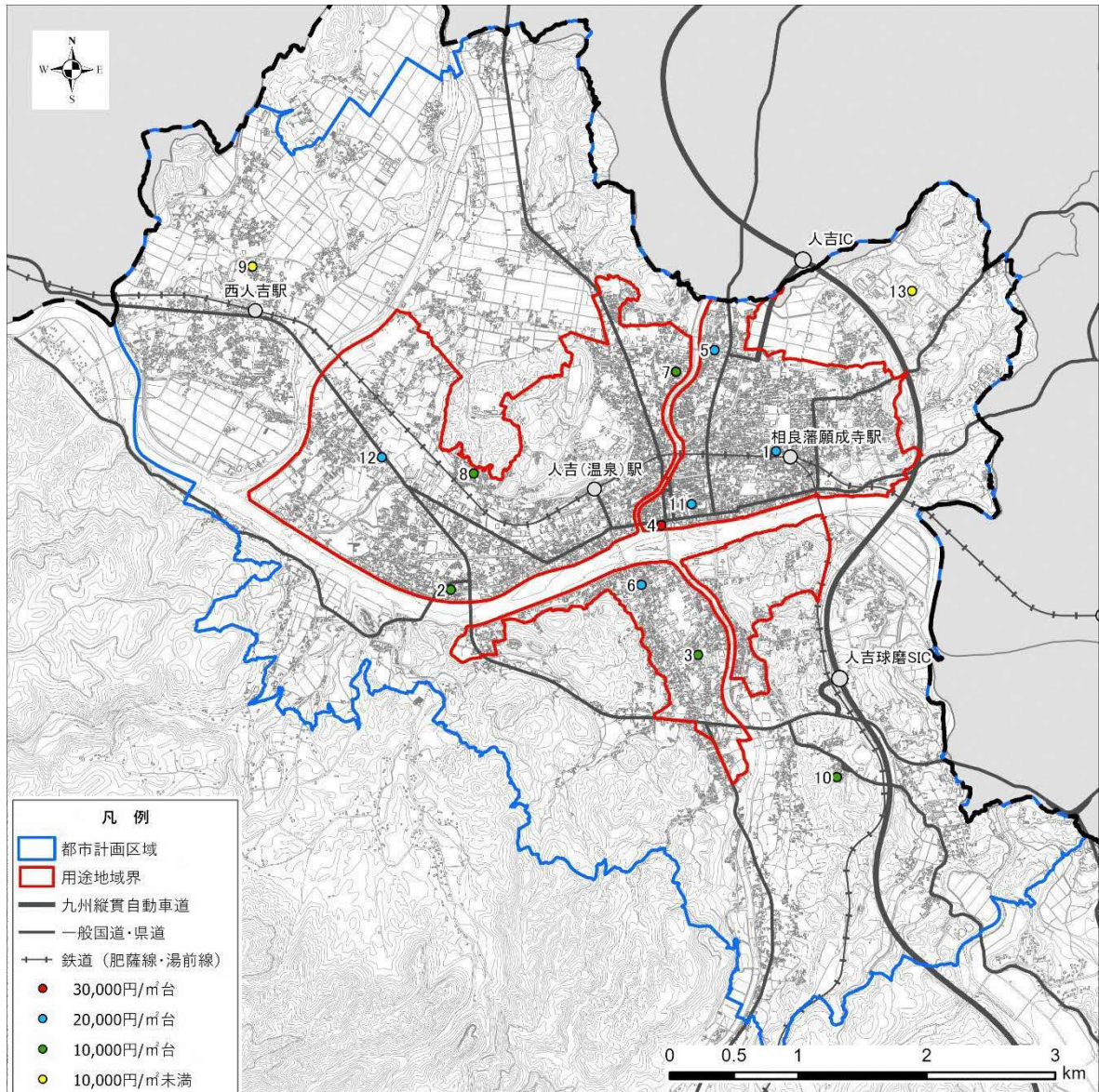


図 2-44 地価動向調査位置

資料:地価公示(2023 年1月)、都道府県地価調査(2023 年7月)

表 2-15 地価の状況

地点	所在	価格 (円/㎡)	土地利用	備考
1	北泉田町字高野 216-4	24,200	住宅地	地価公示 (2023 年 1 月)
2	相良町 7-7	13,900	住宅地	地価公示 (2023 年 1 月)
3	南町 24-5	19,400	住宅地	地価公示 (2023 年 1 月)
4	九日町 41-1 外	32,500	商業地	地価公示 (2023 年 1 月)
5	鶴田町字鶴村 865-1	26,300	商業地	地価公示 (2023 年 1 月)
6	灰久保町 16-4 外	24,400	住宅地	都道府県地価調査 (2022 年 7 月)
7	瓦屋町字柳川 1815-6	18,200	住宅地	都道府県地価調査 (2022 年 7 月)
8	下城本町字平田 1733-1	15,100	住宅地	都道府県地価調査 (2022 年 7 月)
9	下原田町字荒毛字久木原 2113-7	9,800	住宅地	都道府県地価調査 (2022 年 7 月)
10	東間上町字今見堂 3660-13	10,400	住宅地	都道府県地価調査 (2022 年 7 月)
11	九日町 114-2	24,800	商業地	都道府県地価調査 (2022 年 7 月)
12	下林町字七麦田 219 外	22,000	商業地	都道府県地価調査 (2022 年 7 月)
13	鬼木町字梢山 1769-31 外	6,800	工業地	都道府県地価調査 (2022 年 7 月)
14	木地屋町字真萱 2277-2	9,500	用材地	都道府県地価調査 (2022 年 7 月)

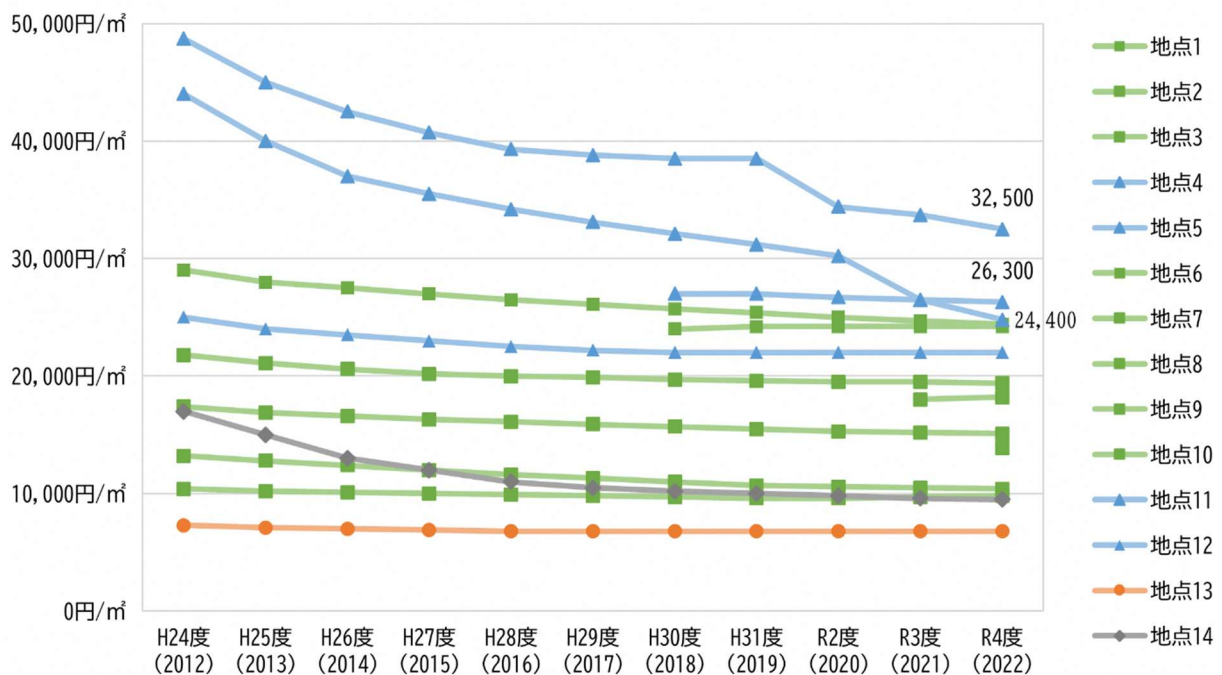


図 2-45 地価の状況

資料:地価公示(2023 年1月)、都道府県地価調査(2023 年7月)

2-10 都市の現況から見た問題点

(1) 人口

- ・ 人口減少は、今後高い減少率で加速し、令和 22 年（2040 年）には令和 2 年（2020 年）の人口の約 76%にまで減少する見込みです。
- ・ 高齢化が進み、令和 22 年（2040 年）には、老年人口（65 歳以上人口）が生産年齢人口（15 歳～64 歳）を上回る推計となっています。
- ・ 本市は人口の 90%以上が都市計画区域内に分布していますが、平成 7 年（1995 年）から平成 27 年（2015 年）の 20 年間で全市的に人口が減少し、特に人口集中地区の減少率が最も高くなっています。
- ・ 自然動態の減少だけでなく、進学や就職による転出等の社会動態による減少も多い傾向にあります。

(2) 産業

- ・ 第 1 次産業の就業者が大きく減少しています。
- ・ 工業については、事業所、従業者数、製造品出荷額が減少傾向にあります。
- ・ 商業（小売り）については、年間商品販売額は横ばいで推移しているものの、事業所数、従業者数は減少傾向にあります。
- ・ 農業産出額は減少傾向で、特に米、野菜等の耕種による産出額が大きく減少しています。
- ・ 観光客数は増加傾向にありましたが、令和 2 年（2020 年）以降は新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少しています。

(3) 土地利用

- ・ 建物の新築状況は多くが用途地域内やその周辺で発生していますが、西人吉駅周辺といった用途地域以外にも新築が存在しています。
- ・ 空き家数は増加傾向で、平成 30 年（2018 年）には住宅総数のうち空き家の割合が 24.0%を占めており、用途地域内にも多数の空き家が存在しています。

(4) 交通

- ・ 市内の鉄道は令和 2 年 7 月豪雨により運休中となっています。
- ・ バス停からの徒歩圏を見ると用途地域内は概ねカバーされていますが、運行本数が少ない路線も存在しています。

(5) 都市機能

- ・ 都市機能を担う各施設の徒歩圏人口カバー率を見ると、商業機能、金融機能は 70%以上、子育て支援機能、医療機能は 50%以上 70%未満ですが、他の都市機能は 50%未満です。
- ・ 20 年後の徒歩圏人口カバー率も、大きく変化はないと予想されます。

(6) 財政

- ・ 本市の財政は、歳入・歳出ともに増加傾向にあり、令和2年（2020年）は新型コロナウイルス感染症や令和2年7月豪雨の影響により大幅に増加しています。
- ・ 財政力指数は0.44で全国平均より低く、自主財源比率が低くなっています。
- ・ 道路や下水道等の社会基盤施設は、今後更新時期を迎え、現在のサービス水準を維持する場合、修繕および改修費が増大する見込みです。

(7) 地価

- ・ 住宅地、商業地、工業地ともに地価は下落傾向にあり、特に商業地の下落率が高くなっています。